

年 組 ( ) 名前

サイン



◆日本からいなくなるかもしれないといわれたこともあるアホウドリが18年間で2倍以上に増えていることがわかりました。



# アホウドリ すこ しょう ずつ ぞう 加 わだい 増加

日本で絶滅が危惧されていたアホウドリ=写真=の復活です！

アホウドリは、翼を広げると2羽にもなる大きな海鳥です。かつては沖縄県の尖閣諸島・南小島の周辺にたくさんいたのですが、1890年代以降、羽毛をとるために乱獲されて激減し、1949年には絶滅したともいわれました。

ところが環境省が昨年11月に南小島で撮影した衛星画像を分析したところ、つがい(夫婦)が110~140組いることがわかりました。2002年の別の調査では、およそ50組いることが推定されており、この18年間で2倍以上に増

えたことになります。

尖閣諸島は、12年に国の土地になってから、人の立ち入りを制限しています。このため、アホウドリもものびのびと育ち、増えていると考えられています。

【1】アホウドリの数が減っていった理由は何人でしょうか。

【2】アホウドリは何年に絶滅したといわれていましたか。数字を1文字ずつ書きましょう。

--	--	--	--

 年

【発展問題】アホウドリ以外にどのような海鳥がいるか調べ、好きな海鳥の絵を裏にかきましよう。

(2021年5月20日  
読売KODOMO新聞より)